

RU11 シンポジウム

「知」の力による我が国の創造的復興と未来に向けて

— 今を乗り越え、明日を目指して —

(第1回)

1. 開催趣旨

最先端科学の研究と教育を担う日本の主要研究大学 (RU11) が、今回の震災をどのように捉えたのか。今、そしてこれから何をなすべきか。自省も込めたさまざまな視点からの考察をもとに、先端科学を今後どのように導き、活用していくことが真に国民への、さらに広く人類への貢献となるのかを議論し、社会に発信する。

*RU11 とは、研究に重点を置き世界と戦う大学 (Research University) による国立私立の設置形態を超えたコンソーシアムである。11 大学 (北海道大学、東北大学、筑波大学、東京大学、早稲田大学、慶応義塾大学、東京工業大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、九州大学) で構成。

2. 日時

平成23年6月11日 (土) 10:00~14:10

3. 場所

ウェスティンホテル仙台 2F 「グランドボールルーム」

仙台市青葉区一番町1-9-1 (Tel. 022-722-1234)

4. プログラム 全体司会：飯島敏夫 (東北大学 理事)

■開会あいさつ

10:00~10:20 松本 紘 (京都大学 総長)

■来賓あいさつ

10:20~10:35 鈴木 寛 (文部科学副大臣)

10:35~10:50 唐木英明 (日本学術会議副会長)

■被災大学からの報告 —東日本大震災、被災と復興への決意—

10:50~11:20 井上 明久 (東北大学 総長)

11:20~11:40 山田 信博 (筑波大学 学長)

11:40~12:00 松本洋一郎 (東京大学 理事・副学長)

—休憩 15分—

■ラウンドテーブルディスカッション

12:15~14:00 (105分)

コーディネーター 室山 哲也 (日本放送協会 解説委員)

討論者 井上 明久 (東北大学 総長)

山田 信博 (筑波大学 学長)

伊賀 健一 (東京工業大学 学長)

橋本 周司 (早稲田大学 副総長・常任理事)

松本洋一郎（東京大学 理事・副学長）
松本 紘 （京都大学 総長）
鈴木 寛（文部科学副大臣）
櫻井 充（財務副大臣）
伊藤 正彦（株式会社デンソー 常務役員）
中村 道治（株式会社日立製作所 取締役）
唐木 英明（日本学術会議副会長）
（RU11 研究担当理事・副学長）

※進行の要点

① 2～3のテーマに絞って、議論を展開

<テーマの例>

- ア) 今回の震災を①研究・教育の担い手は、②産業界は、③政治家は、どう捉えたのか、特に科学への信頼と期待はどうなったのか
 - イ) 被災地の復興と日本の新生に向けた大学の役割はなにか
 - ウ) 大学は、具体的にどのような行動をはじめているのか、その際どう協力していくべきか（産官学を含めて）
- ② フロアとの意見交換
- ③ コーディネーターによるまとめが大切

■閉会のあいさつ

14:00～14:10 井上 明久（東北大学 総長）

—閉会—